

ゆらの通信

Vol.13

平成23年6月

2011年6月15日森はすっかり梅雨空ですが、桑の実は早くも色付き始めました。昨年の冬は大雪に見舞われたため、春への準備が遅れ(!)あわただしい初夏になりました。大変遅くなりました。 ようやく**ゆらの通信 Vol.13**のお届けです。



2010年10月 野鳥調査

この秋も森では野鳥の調査が行われました。毎年行われている調査ですが、回をかさねる度にデータが増え、渡り鳥の生態が少しずつ解ってきています。今回は厚生労働省の（新型インフルエンザ等新興再興感染症研究事業）で愛媛県南部における鳥類寄生マダニ類調査も行われました。



オオアカゲラ

2010年10月31日 ネパリバザー口交流会 IN 由良野の森

春にも合宿に来られた横浜のネパール支援団体「ネパリバザー口」さんが来てくださいました。初日はピザ焼き・ワラ草履作り・カヌー・機織などのワークショップ・羽釜で芋たきを。二日目は午前にネパールカレー作りの交流会、午後からはアンサンブルさくらのコンサート、そしてさくらとのコラボレーションで、クラシック生演奏でのファッションショーが行われました。ゆらのの会員も何人かモデルに加わり楽しい交流会になりました。

『共に生きる』ことに取り組む皆さんとの交流は、心温まるものでした。



2010年11月7日 第41回こども森林博士号講座

41回目のこども森林博士号講座は「しいたけのほだ木をならべよう」

「焚き木を集めて焚き火をしよう！パンを焼こう！」の予定でしたが、雨のためほだ木ならべは中止。まずはゲストハウスでパン生地をこねてから由良野の森にやってくる野鳥の勉強を行いました。



竹に巻きつけて焼くおいしいパン生地のレシピは、会員でパンの先生から頂きました。



2010年紅葉

鳥たちが飛び交う中、落ち葉のじゅうたんが眩しいです。



2010年11月28日 毛筆で年賀状

今年の総会で企画された「毛筆で年賀状を！」

会員の村上伊津子さんに講師をしていただき開催しました。まずは村上さんにやさしくお手本を教
えていただき、それぞれ書き始めました。なかなか皆さん達筆です（個性的？）。

楽しみながら素敵な兎の年賀状ができました。毎年の定番になりそうです。



2010年12月28日 由良野の森は大雪

年末から降り続いた雪は由良野を覆いつくしました、地元のみなさん、昭和38年の豪雪以来の大
雪だと言っていました。とにかく毎日降り続き、除雪した雪を持っていくところがなくなっていま
いました。川下の里までの2キロ程の道はすぐに除雪が入らないため自分たちで除雪。

普段なら車で10分の距離を、年末年始は下りに3時間、帰りも3時間・・・やれやれ。



森は天然のスキー場！！

2011年3月21日 子ヤギが生まれる

大きなおなかで雪の中を過ごした雌ヤギの「ミミコ」が子ヤギを4頭生みました。雄雌2頭ずつ。うち2頭は逆子で、足を引っ張って手伝いました。タイミングよく森には沢山の会員さんがおられ、みんなで見守りました。初体験、ドキドキ感動の一日でした。



小雨の降るなかの出産 二頭目、四頭目は逆子



4頭生まれた後に小屋に帰って授乳中



数日後、一番小さく生まれてきた子やぎが「ミミコ」に踏まれて後ろ足を骨折してしまいました。

獣医さんには（家畜なので・・・）といわれ、思案の末、自分たちで応急手当をすることに。
試行錯誤の動物との暮らし。（う～ん）。お手製の添え木をして骨折当日は心配だったので添い寝。
（自分の子どもの時より大変でした・・・なんせ夜中にしょっちゅう メ～～ って顔覗かれて！）

母親に返してから1週間で添え木を取ると、2週間後には殆ど分からないくらいに回復しました。
強いですねえ～。（離乳が完了してこの子は内子町にもらわれていきました）

2011年3月18日 アグリフォレストリーづくり

工房天月の丘に、栗・林檎・プラムなどを植えてみました。
このあたりでは昔、家を建てる時裏山の栗を利用したそうです。
土台だけでなく柱にも使われる栗。実も採れて、木材にもなる栗を中心に、今後もいろいろな果樹
や豆・染料植物を植えていく予定です。



2011年4月10日 第42回こども森林博士号講座 「しいたけのほだ木を並べる」

昨年の秋に行う予定だったほだ木並べ。ようやくこの日に出来ました。
好天に恵まれたので、大勢の参加がありました。重たい原木も老若男女、参加者全員で力を合わせて行いました。途中の休憩では沢山生えているしいたけ狩りも・・・。
しいたけ嫌いの子どもも食べる！！ 由良野のしいたけはこども達にも大人気です。お昼には焚き
火で焼いて食べました。



2011年4月10日 植林と桑の手入れ

午後からはこの春から増えた由良野の森の土地にクヌギを植えました。あっという間に30本植えて、その後は桑の木の手入れ。大勢でやると作業のはかどりようが違います。

今年は、森の作業をお知らせして行こうと思います。お時間のある方はぜひご一緒しましょう。



2011年4月29日

この春、由良野の森隣接地を寄付していただいた敷地内を昔の遍路道が通っています。半世紀前までは街道だったこの道。今は通る人のなかったその一角に、墓石がいくつも並んで置かれているのを、藪の中から発見。中には（天保）や（寛永）など江戸時代のものあります。草を払ったこの日は、円通寺の二神住職にお経を上げていただきました。



2011年5月17日 由良野川に行ってみる

陸稻の畑のすぐ側に、由良野川に降りる場所を作りました。沢遊びによさそうです。（さっそく、子ども博士たちに人気で、すでに沢登りする姿も・・・大人は寒いのにね～）よく見ると魚たちが急いで岩の下に隠れるのが見えます。8月に予定の「沢の生き物調査」が楽しみです。



2011年5月21日 陸稲種まき

昨年は濁水もあり、うまくいかなかった陸稲作り。今年も挑戦です。隣でヤギが見ている中、会員さんに手伝いをさせていただきながら、半日で撒き終わりました。さて、今年は餅つきができるかな？



2011年5月22日 「アレクセイと泉」上映会

ゲストハウスで行われた上映会。東北震災支援チャリティーが目的です。チェルノブイリ原発の爆発事故で被災した、ベラルーシ共和国東南部にある小さな村ブジシチェが舞台で、写真家・本橋成一と音楽家・坂本龍一と組んで〈泉〉を主題としたドキュメンタリーです。ぜひ多くの方に見ていただきたい映画。県内外から多くの参加者があり、いろいろな思いを持ち帰りました。



2011年5月22日 第9回ゆらの人間学講座

「パラダイスのような学校でしょ・・・」と先生はいった ハイデルブルグのシュタイナー学校

今回の人間学講座の講師は、会員の高安伸子さん。哲学が専門で、何度もドイツに留学された経験がある高安さんに、昨年息子さんがドイツのシュタイナー学校に通われた体験からお話をいただきました。よく耳にするシュタイナーの教育、写真やお話を通して自然に対して畏敬の念を抱いて自然との共生を大事にする教育の様子がよく伝わってきました。



2011年6月5日 第43回こども森林博士号講座「土の中の生き物を見てみよう」

今回は土の中の生き物。

雨が降り始めたのでゲストハウスの中で行いました。

雑木の中の土を枯葉ごとふるいにかけて生き物を落とします。そうすると下のトレイには沢山の生き物が。さっそく吸虫管で吸い採って実体顕微鏡で覗いて見ました。

そこは「風の谷のナウシカ」の世界。植物と落ち葉と命の土の世界です。



2011年6月5日 2011年度 ゆらの総会

小雨の降る中、今年もたくさんの方に参加していただきました。

議長には、木地師の甲斐義孝さん。お陰様で和やかな雰囲気の中、会が進行しました。

各種報告の後にはいろいろな意見がでて、時間ぎりぎりまで話し合いました。

今年度の活動に活かして行きたいと思います。



2011年6月5日 「独立型ソーラー発電装置を組み立ててみよう」

独立型ソーラー発電装置を組み立ててみようというワークショップを行いました。

ガイドして下さったのは Fun energy の下村瑞枝さん。

どこにでも持ち運びが出来る、小型の太陽光発電装置の組み立てを体験しました。

震災後、エネルギーへの関心が高まる中、参加された皆さんからは沢山の質問や意見が飛び交っていました。

完成後は、扇風機を回したり携帯電話を充電したりノートパソコンを使ったりと、

自然エネルギー利用をためしてみたり・・・。終了後も残った皆さんで遅くまで語り合いました。



ヤギの乳搾り

この春から始まったヤギの乳搾り。子やぎが飲み続けるなか、多い日は1リットル近く搾ることが出来ます。この日は沖縄・西表島の青年会で一緒に活動した友人が京都から訪ねてきてくれました。さっそく乳搾り体験。島では牛飼いの仕事もしていた彼女にはヤギの扱いは簡単のようでした。会員のみなさんも体験できるように工夫していこうと思っています！



事務局より

年々変化を続ける由良野の森。いろいろな試みが、たくさんの方々とのご縁と協力で起こっています。これからもご縁を大切に、多様な価値観を共有できて、互いを尊重できるような（共存・共生の場）由良野の森を作っていけたらいいなと思います。

形でも言葉でもうまく表現しにくいゆらのの活動ですが、集う人たちの志で運営しています。皆様のご参加をお待ちしています。